

第18期ホテル産業経営塾 カリキュラム

回数	日程	テーマ	講義内容	講師
	5/11	入塾式、写真撮影、オリエンテーション		*マイス (MICE) 塾と合同開催
1	5/25	マネジメントの役割	1、ホテル産業の特性 2、ホスピタリティ産業におけるリーダーシップのあり方 3、マネジメントに必要なもの (価値観・行動基準・スタンダード・KPI)	田中 勝 名誉塾長
2	6/8	プレゼンテーション スキル トレーニング	多様な状況においても聴き手に分かりやすく伝わり、またアピールできる、プレゼンテーションの技法を獲得します。	三原 昭久 合同会社ヒューマンリソース総合研究所 代表社員
3	6/22	人の育成と評価	競合ホテルと戦うためには、上司は部下の内的環境を整えていかなければなりません。この研修では、人材を育成するために必要な評価と育成スキルを勉強します。	三原 昭久 合同会社ヒューマンリソース総合研究所 代表社員
4	7/13	ホテル労務管理の基本	ホテル内で日々起こる労務管理に関する基礎知識を実例を挙げながら実践的に解説します。	勇 茂樹 一般財団法人日本ホテル教育センター 第2事業部長
5	7/27	ホテル ブランド マネジメント	顧客満足を利益に変換する方策としての“ブランディング”に関して基本的な理解を深めます。	小々馬 敦 産業能率大学 経営学部 教授
6	9/14	レベニュー&カスタマーリレーションシップ マネジメントの基礎	レベニューマネジメントに必要なものは、理論的な予測、販売の制限、ホテルマーケティング。カスタマー・リレーションシップ・マネジメントとは「お客様とのお縁を大切にする」という概念。究極の顧客満足と高収益を両立させる為に、個人ではなく企業のCRM成功のヒントを学びます。	小林 武嗣 C&RM株式会社 代表取締役
7	9/28	ロジカルシンキング	「思考の狙いを定め、論理的に考え、その結果を伝えること」それが、ロジカルシンキングです。	渡辺 パコ デジタルハリウッド大学 教授
8	10/12	顧客満足度向上の意義と実践	「日本ホテル宿泊客満足度調査」(年1回実施)の担当者から顧客満足 (CS) の必要性和CS向上の実践方法について学びます。	植田 若菜 株式会社 J.D.Power Japan リサーチ部門 シニアマネージャー
9	10/26	計数管理の基本 (1) ~ホテルの管理数値~	組織運営ならびにマーケティング戦略立案の基礎となる基本的な指数の計算方法を習得し、ホテル経営における管理数値について学びます。	高橋 浩昭 株式会社ビーシーキューブ 代表取締役
10	11/9	計数管理の基本 (2) ~経営計画の策定~	基本的な財務諸表の理解と、部門ならびに全社の経営目標算出のための手法を学びます。	
11	12/14	計数管理の基本 (3) ~損益計算の基本~	基本的な財務諸表の理解と、部門ならびに全社の損益計算のための手法を学びます。	
12	1/11	ホテル経営シミュレーション (1)	インターネット対応版ホテル経営シミュレーション「ザ・ホテル」を用いた総合的な模擬経営演習を通じて、経営意思決定、目標の意義、戦略と戦術などの意味と現場への展開法を習得します。	
13	1/25	ホテル経営シミュレーション (2)		
14	2/8	ホテル経営シミュレーション (3)	インターネット対応版ホテル経営シミュレーション「ザ・ホテル」を用いた総合的な模擬経営演習を通じて、キャッシュフロー (資金繰り)、損益分岐点、費用分解の考え方や計算手法を習得します。	
15	2/22	ホテル経営シミュレーション (4)		
16	3/8	卒塾論文発表	塾生全員が自分で決めたテーマに沿ってプレゼンテーションを行い、相互に評価し、優秀賞を競います。	
	3/15	卒塾式、懇親会		

※講義は原則、毎月第2・第4金曜日の14:00~18:00に実施予定

※上記内容は諸事情により、予告なしに変更となる場合がございます。